

# 信号変換基板

## 取扱説明書

接点 → RS232C (ステータスランプ対応)  
三菱 LVP-XL30,25 LVP-X500用

### (有) ロジックス

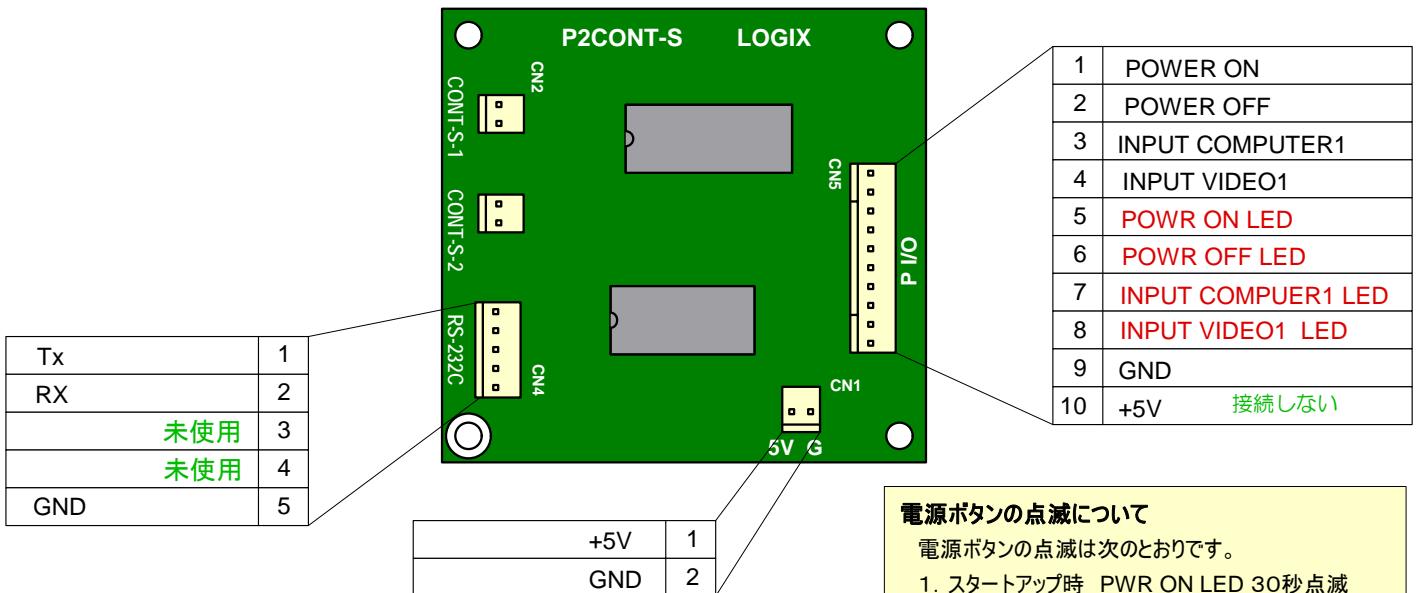
857-0055  
長崎県佐世保市湊町2-15 E-mail : logix@lgx.co.jp  
電話 : 0956-25-3963  
FAX : 0956-25-3964 WebPage : www.lgx.co.jp

この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。

入出力の仕様は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。

注意点として、接点入力の信号線の長さは1M以内（できるだけ短く）、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。

LED出力電流は基板上で約1.5ミリアンペアになるよう制限しています。

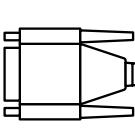


CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します  
(消費電力 : 50mA以下)

CN4 : RS-232C

Dsub9P オスコネクタ

Tx	1
Rx	2
接続しない	3
接続しない	4
GND	5



専用RS-232Cケーブル

RS-232C端子へ

LVP-XL30

#### 電源ボタンの点滅について

電源ボタンの点滅は次のとおりです。

- スタートアップ時 PWR ON LED 30秒点滅
- クーリング時 PWR OFF LED 30秒点滅
- 電源オン時 PWR ON LED 点灯
- 電源オフ時 PWR OFF LED 点灯

VPの状態を監視しています。VPに接続してテストしてください。

CN5 : 接点入力

1	POWER ON
2	POWER OFF
3	INPUT COMPUTER1
4	INPUT VIDEO1
5	POWR ON LED
6	POWR OFF LED
7	INPUT COMPUTER1 LED
8	INPUT VIDEO1 LED
9	GND
10	+5V 接続しない

これらの端子をGNDに接続すると、該当するコマンドが出力されます。この信号はグランドにショートした瞬間に、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。